



長い梅雨空のトンネルをようやく抜けたと思つたら、いきなりの猛暑日の連続でなかなか体が適応出来ません。これから台風シーズンを迎えます。年々、大型化してきているので十分気を付けて行きたいと思います。

さて、前号で釜石の奇跡について若干触れさせて頂きましたので、今回も紹介したいと思えます。釜石での出来事をずっと見て来ている、東京大学の玄田有史教授は「希望学」について研究しております。「釜石の栄光と挫折」釜石はこの繰り返し歴史であり、近年では、2011年の東日本大震災からの復興の道程である。震災時釜石に希望があったとすればそれは「残された命を守ること」そして「死に向き合うこと」前者は被害に遭いながら命をなげうたすべての人に、暖かくてひとときでも落ち着ける衣食住の

環境を出来るだけ早く整えることを意味し、後者は不幸にも命を落とした方々を見つけ出し、一刻も早く家族のもとに帰れるようにすることだった。玄田教授は希望学の研究を進めている中で、重要な発見をしたということだ。「挫折と希望の関係」

過去に挫折を経験した人ほど未来に希望を持つ傾向があり、詳しく調べてみると挫折を経験し、それをくぐり抜けてきたという自信を持つ人ほど、希望をもって行動しているということ。「挫折と希望」の関係調べていく上で、どうしても「挫折をバネに希望へとつなげてきた人たち」に直接会って話を聞くしかない。そんな声を集めるのに適した地域を探すなかで出会ったのが釜石であったということ。釜石では多くの方の協力を得られ、挫折や経験を正面から受け止めてきた方の言葉に

は、何か特有のすがすがしさを感ずる瞬間があった。ある時、「そんなこと、分からん」と言い続けられた方が、希望について一つだけ教えてくれたとのこと。「希望に柵から牡丹餅はねえな、自分には希望がないという人がいるけれど、そんなことは自分には考えられない。与えられた希望は、本当の希望ではないのではないか。動いて、もがいて、そこで突き当たったなかに、希望があるのでは」それは挫折を乗り越えて希望を紡いできた釜石の共通のメッセージであったとも述べています。釜石は2019年ラグビーワールドカップの開催地のひとつでもあります。釜石の人たちは、またひとつ「希望」と「夢」を手練り寄せたのではないかと思います。(総合施設長 齊藤 操)

# ときがね な ひととき

※法人内の事業所の日々の様子をお知らせします。

## 鴉嶺の家（高齢）

雨が降っていたり晴れていたりと、安定しない天気が例年より長く続きましたがやっと梅雨の時期が明けましたね。皆さんは、どうお過ごしですか？

鴉嶺の家では、雨の日には利用者さん方と一緒に折り紙をしたりカラオケをして過ごしています。

晴れの日も、利用者さん方と一緒に歩いてお買い物に行ったり車でお買い物に出かけております。

鴉嶺の家では、7月9日に

行われた基本救命講習に参加しました。参加したスタッフ全員で心肺蘇生のやり方や人工呼吸のやり方を学びました。その後は、AEDの使い方を教えてもらい人形を相手にAEDを使用しました。

その次に、7月18日にスタッフや利用者さん達と一緒にオーブブルやピザを頼んで皆で召し上がりました。その時、「Kさん」が自分の生い立ちをお話して下さいました。

最後に、7月24日に行われた誕生日パーティーのお話です。「Hさん」と「Mさん」の誕生日会を行い他の利用者さん方達で歌を歌いお祝いしました。（宮澤）



## 鴉嶺の家（児童）

雲ひとつない青空と賑やかなセミの声に、夏本番を感じる今日この頃、皆さんいかがお過ごしですか。

鴉嶺の家（児童）は、子ども達の夏休み突入！スタッフの口癖が「暑い！」の中、子ども達は元気100%！賑やかな毎日が続いております。そんな7月のお出かけは、「プチ電車の旅」でした。東金駅から成東駅まで電車に乗り、お昼ご飯は成東のマクドナルドへ！「あ！学校が見える！」と外の景色を見ながら嬉しそうな子や、「座らないでいいや！」と電車のグラグラ感を楽しむ子もいて、様々な反応が見られました。マクドナルドに到着すると、さっそく注文です。店員さんを前にして照れてしまう子や「いつもこれ食べてる！」と慣れたように商品名を言う子など（笑）みんな揃っていただきま〜す！とても

楽しいひと時でした。今回は2駅でしたが、今後はもっと遠い駅にも行ってみようという計画中です♪

7月と言えばもう1つ忘れてはいけないイベントがありますね。そう！七夕です。今年も子ども達と一緒に短冊に願い事を書き、笹の葉に飾り付けをしました。七夕前日の土曜日には七夕パーティー♪お歌を歌い、自分達で作ったそばろカツプケーキを食べています。みんなの願い事には、「サッカー選手になりたい」や「から揚げが食べたい」などいろんな願い事が書いてあり、とても微笑ましかったです。お天気は残念ながら雨でしたが、織姫と彦星さんが無事に再会しみんなの願いも叶うといいなあ、と願っています！

まだまだ暑さは続くようですよ。水分補給をしっかりと、夏ラストスパート駆け抜けましょう！（深澤）

## ぼけっと

今年は例年よりも梅雨明けが遅く、今後猛暑が長く続く予想されており、こまめな水分補給を心がけて体調管理には十分気をつけていきたいと思います。

さて、ぼけっとでは7月後半からは夏休みが始まりました。普段は、利用日が重ならず、一緒にならないK君とR君。同じ学年ということもあり、お互い引けず度々衝突がみられました。そんな中先日公園へ蟬取りに出かけた二人は先日、セミの鳴き声だけは聴こえるのですがなかなか見つからず、帰る時間も近づいてきて諦めかけてた時に低い位置にセミがいるのを見つけました。

大興奮で駆け寄る二人そこで急にK君が立ち止まり「あ！あんな所にきのこある、俺きのこ怖くて無理だから頼むよR君、悔しいけど任せるよ、ほれ、俺の網の方がでかいから貸して

あげるよ絶対捕まえてね！」と網をR君に渡すK君。

受け取ったR君は「任せて捕まえるから」とそろりりと近寄りセミの前に立ちバツと振りおろした網は惜しくもセミを捕らえることはできず、木から逃げてしまいました。が奇跡的に木の枝にあたり地面に落ち、すかさずあみを振りおろすR君なんとセミGETです。

セミをK君の元を持って行き大興奮でカゴに入れる二人、K君が「せっかくだから写真撮ってよ」と二人で虫籠を持ち笑顔で写真を撮りました。その後、お互い「R君まだ？」「K君まだ？」と来る時間を気にする様になりました。今後、2人がどのような友達関係を築いていくのか見守って行きたいと思います。(上代)



## サポートセンタースピリッツ

梅雨が明けた途端、急に暑くなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は、梅雨の時期も利用者様といういろいろなところへ出かけました。

今回は、醤油工場に行つて「濡れ煎餅焼きそば」を買いたいと希望された利用者様と鉋子の醤油工場へ行きました。醤油工場へ向かう電車の中では、真剣に車窓を眺めている利用者様を見ながら、お出かけのお手伝いを見せて頂いてよかったです。その店に到着し「塗れ煎餅やきそば」を無事購入すると、さらに醤油ソフトクリームも購入され、笑顔で召し上がっていました。

また、ある利用者様は今月が誕生日ということで、お誕生日特別企画「スカイライナーに乗ろう」という計画をさせていただきました。

その計画の中では、お昼も豪

華なものにし、ステキやエビフライなど利用者様の好きなものをおなかいっぱいに召し上がって頂きました。日常からふと離れた気分転換の時間を持つことで、利用者様の明日への活力になって頂けると、嬉しいです。

最後に、先月号でもお知らせさせて頂きましたが、サポートセンタースピリッツは令和元年7月31日を持ちまして、一時お休みをさせて頂きます。今まで、至らないことも多々あったと思いますが、6年と5か月の間、利用者様、ご家族の皆様、そして関係機関の皆様には、多大なご支援とご協力を頂きスピリッツ職員一同、大変感謝致しております。誠にありがとうございました。(亀山)

## 五根の家（グループホーム）

7月といえば七夕です。五根の家でも毎年恒例となっている短冊に願いを書きました。6月から新しくご入居されたUさんは短冊に「お寿司が食べたい。」「あいにくてね（家族）。」という願い事をお書きになりました。その願い事をご家族が面会に来られた際、ご覧になりました。ご家族は、お寿司を食べに行く機会をつくって下さり、面会にも来て下さいました。いくつになっても願い事が叶うことはうれしいことです。お寿司を食べて帰ってきたUさんはとてもうれしそうな表情をされていました。願い事を叶えて下さったご家族に感謝の気持ちでいっぱいです。

グループホームにはさまざまな理由で皆さんご入居されます。五根の家のグループホームは認知症対応型なので皆さん認知症という病気が発症された方たちになります。ご自分で納得されてご入居される方、納得しなくても認知症の症状でどういふことなのか分からずご入居される方、一人暮らしをしていてまわりの方から心配されご入居される方、ご家族と同居していても介護負担が大きくなりご入居される方、本当にさまざまです。

七夕の願いではありませんが、多くの人は「家に帰りたい。」という願いがあると思います。その理由がなぜなのか？家族と一緒に暮らした思い出のある家だから、苦勞して建てた家だから、大切な人と暮らしていた家だから、これもまたさまざまな理由があると思います。そんな思いを私たちはどこまでくみ取ることができるのか？利用者さんの「家に帰りたい」という問いかけに、どんな言葉を返せばいいのか？日々悩みながら、利用者さんとかかわっています。

（宗形）

## 五根の家（小規模多機能ホーム）

季節は必ず変わっていく、肌寒い日もありました。これから梅雨明け、暑い夏を迎えようとしています。夏だけではないですが、これからの季節は食中毒や脱水に注意が必要です。体力の弱いお年寄りや病気がちな方には、日頃の心配りとそれ以上の気遣いが必要となります。スタッフ一人ひとりが気を配り、全員で見守り夏を過ごしたいと思います。毎日の生活の中「五根の家」に通ってこられて、長い時間を過ごされる利用者さんが大勢おられます。利用者さんが過ごしやすい空間を作り、穏やかに過ごせる時間を作る事に努めております。一人ひとりに寄り添い、その人の思いや願いを見つける事も大切です。そこに寄り添って過ごせるように努めております。ただ思うようにならないのも現実です。スタッフには時間的余裕、気持ちの余裕が無く日々の

業務に追われて大変な状況もありますが、良い環境から良い支援、スタッフが穏やかであれば利用者さんも穏やかに過ごせます。

「誰もが、ありのままに、その人らしく地域で暮らすことのできる社会へ」実現には様々な問題があります。

小さな声、一人ひとりの声を聞き、みんなで話し合う事が大切です。本人やご家族に辛く、悲しい思いをさせないように、みんなで出来ることをやるしかないと考えます。

七夕（7月7日）、願いを込めた短冊や飾りを作りました。好きな物を食べたい、好きな人に出会いたい、宝くじが当たりますように、歩きたいなどいろいろ願いがありました。当日は雨でしたが、願いが叶うようにみんなで祈りました。（鎗田）

## ふくおかの家

梅雨明けが待ち遠しい日々です。毎年、7月2日は福岡地区にある浅間神社でお祭りがありません。利用者様も楽しみにされています。中でも出店を見て回るのは、本当に楽しみにされています。今年も、五根の家さんにもお声をかけ、一緒に出かけました。顔なじみの利用者様たちが再会を喜ばれたり、一緒にタコ焼きを食べたりと、楽しそうに過ごされていました。福岡地区から来家されている利用者様が、浅間様は子供の神様で、7歳までは親と一緒に連れて行き健康を祈ってくれた。7歳を過ぎると、友達と行ったり、親からは離れて行っていた、と懐かしそうにお話されていました。その方の何十年か前の子どもの頃の姿が目に見えかんでくるようでした。

また、7月といえば七夕です。ご利用者様、スタッフの皆様で願

事など記した短冊を、利用者様と一緒に飾りつけをしました。

やはり、皆さんの一番の願い事は元気で過ごせるようにでした。そこで、看護師である私の出番だと思いましたが、皆さま元気いっばいで、食欲もおありで、いつもどこからとなく笑い声が聞こえており、元気の源とは、この笑顔ではないだろうかと思いました。いつも笑顔がありがとうございます。

梅雨が明けるこれからは、夏本番です。体調管理には十分気を付けていきたいと思えます。花火が夜空を彩る季節になり、皆様が楽しい夏を元気に過ごせますように。(立野)



## ひなたぼっこ・椿森

長い梅雨が明け、夏本番!「暑いですね。」の挨拶から始まる毎日です。

先日、ひなたぼっこ・椿森で流しそうめんをやりました。同日にボランティアの先生による絵手紙教室も開催し、近所の方や運営推進委員の方々にも参加

して頂き、楽しい時間を皆さんと過ごすことができました。行事を企画する度に雨に降られる

私ですが、この日は梅雨の晴れ間に恵まれました。そして、この日はいつも以上にひなたぼっこ・椿森のチーム力を感じる事ができ、スタッフの皆に感謝することばかりでした。私

はいつも計画性が無く、行き当たりばつたりの性格です。事前準備が足りず、他スタッフを不安にさせてしまいました。それでも皆がそれぞれ様々な立場で行事を盛り上げてくれたので、私的には『楽しかった!大成功

!!』と思っているのですが…。

この想いが独りよがりにならないように、皆が安心して行事や日々の業務に取り組めるように、今回の反省点を活かしていきたいと思えました。今回参加できなかった方々もおられるので、また来月も流しそうめんを計画したいと思っています。次は計画的に!

暑さに負けず、皆さんの体調や熱中症にも注意しながらこの夏を乗り越えたいと思います。

(鈴江)



## ハンドワーク（生活介護）

七月、夏休みに入ったというのに梅雨明けにはならず毎日空を眺めては、雲のようすを伺い夏はまだ来ないのかと思う日が続いておりました。土曜の丑の日、うなぎは食べても天気が悪く梅干しを干せなかつたお母様方もたくさんいらつしやるかと思いますが、どうでしょうか？無事に干すことができるのでしょうか？梅干しは、皆さんのお弁当にも入っている大切な一品です。上手に干し上げられることを願います。

七月中旬、私達はときがね湖めぐし出発したのですが、到着と同時に大雨に降られてしまいました。せっかく外へ出たので、東金文化会館の電気科学館に雨宿りがてら立ち寄りしました。館内は、ハンドワークの貸し切りのようでした。皆さん自家発電のユーフォーキャッチャーやパソコンを使つてのゲーム、好き

な色に画面を変えて好きな色で絵など書かれる様子が見られました。言葉でのコミュニケーション

シヨンの難しいAさんが慣れた手つきで画面に向かい魚釣りゲームを始め、大きな魚を釣り上げました。後ろで観戦している職員と「やったネ！」とハイタッチです。いつもは落ち着かず動き回っているBさんもお絵かき画面でご自分の名前や可愛らしいお花の絵をサラサラと描き、隣の職員に「書けたよ！」と言わんばかりに見つめてくれました。「よく書けてるネ！」と声を掛けると何やらまた書き始めました。Cさんは、ゲームが進まず画面とにらめっこされてました。他の皆さんも個々に楽しめる物を見つけ挑戦されておりました。出先での雨のお陰でいつもと違う皆さんの姿を拝見することができて、今日は雨にありがとうございます。（小林）

## ハンドワーク （就労継続支援B型）

ジメジメの梅雨がようやく終わり、夏の太陽が眩しい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？ 筆者は押入れの湿気やエアコンのカビと戦う事が多く、もうお腹一杯という気持ちです。

今年の六月は晴れ間が少なく、どことなく心もどんよりしそうな日が続いていましたが、そんな中でもハンドワーク・ありさの仲良しTさんとMさんは、二人揃うといつも楽しそうに過ごしています。天気や湿気も何のその、お部屋の中の雰囲気明るく、賑やかにしてくれるTさんとMさん、一体どんなお話をして楽しんでいるのだろうか、何気なく耳を傾けてみたところ、どうにもこのお二人、会話のキャッチボールをしていない？不思議に思っていると、どうやらMさんは大好きなゲームのお話を、Tさんは自分のお仕事への考えや、午後には

るべきことなどなど、思ったことを伝えていたようです。しかしながら、かみ合っていない会話でも、笑い、励まし、時には漫才のように突っ込みを入れ、また二人で笑う。なんとも不思議な喜怒哀楽のキャッチボールは、最終的には会話の内容そっちのけの応援合戦へ。しかしそのままでは終わらず、更に別の方が冷静な突っ込み・解説をされたり、訂正をされたりと、輪に入り始める方がちらほらと現れ始め、部屋を隔ていても届く笑いの波に、切っ掛けは様々あれど、輪の温かさを感じた梅雨のひとつ時でした。

（鈴木）



## まちの保育所いくりん

空にはもくもくと大きな入道雲が見られるようになりました。いよいよ夏も本番です！

7月は七夕がありましたね。1歳児さんには短冊の星飾りのところにシールでペタペタと模様をつけてもらいました。

そして1歳児さんも0歳児さんも短冊に願い事を保護者の方に書いて頂き、笹に飾りました。玄関に飾ってある笹を見つけると、じーっと見たり、「あー！」「おー！」と指をさす子もいました。

「これが〇〇ちゃんの短冊だよ」などと保育士が伝えると、「これ？これ？」と嬉しそうに笑っていました♪いくりんのみんなの願い事も織姫様と彦星様に届いたことでしょう☆

また、今年は七夕の日が日曜日だった為、5日の金曜日に少し早いですが七夕ランチを頂きました！調理員さんが愛情を

込めて作ってくれた星がいつぱいのランチでしたが、今年はずいぶんその頃感染症が流行り、食べられた子は少なかったです

：残念（涙）来年こそはみんなで美味しく食べようね！

いくりんの花壇には先日植えた夏野菜がたくさん実りました。夕方水やりをしたり、散歩の帰りに成長を観察したり、自分で獲った野菜は特別美味しいです♡

これから暑い日が続きますが、体調管理に気を付けながら、今年の夏も楽しい思い出を作っていきますよ☆（中山）



## まちの保育所空ば

今年の梅雨は長かったですね。なかなか戸外へ行かれず室内で過ごすことが多かったのですが、遊びの天才の空ばのお友だちは全然へっちゃらでした。保育士たちが作ったダン

ボールのお家にみんなでシールを貼るとたちまちドリームハウスに変身！「トントントン」とお家ごっこの横では「ばあ」と窓から顔を出すお友だちがいたり、疲れて休憩所にしたりといろいろな遊びへ発展させていました。絵の具を手の平につけてフィンガーペインティングに挑戦し、大きな池を作りました。

折り紙でカエル、紙皿で傘、色紙をちぎって貼ってアジサイと様々な作品を製作しました。出来上がった作品を保護者の方や他事業所の方に見ていただいたことで、子どもたちの自信へとつながったと思います。また公園で本物のアジサイを見たり、

触れたり製作とともに実体験も通して、この時期ならではの自然に親しみをもつことができました。七夕も生憎の天気でしたが、星釣りをしたり即席プラネタリウムで天井に写し出された星を見て、きっと子どもたちの心には天の川が広がったことでしょう。

7月より1歳児のお友だちが新たに加わり12名の空ばとなりました。この夏、子どもたちのどんな表情が見られるのか、今からワクワクしています。そして、元氣いっぱい夏を満喫していきたいと思えます。

（内山）



昨年は六月中に梅雨明けして連日猛暑日が続いていましたが、今年の梅雨明けもそろそろでしょうか。いよいよ子どもたちの夏休みも始まりました。

夏休みの宿題は、「先に済ませる派」、「計画的に進める派」、「最後に残す派」に分かれますね。みなさんはいかがですか（でした）か？私は夏休み前の授業で立派な計画こそ立てるもの、実際に全く計画倒れ。断然「最後に残す派」でした。毎年八月の終わりは、締め切り前の作家のような修羅場だったものです。（今思えば、認知の大切さをひしひしと感じます）。

先日の子育てサロンでは、愛着形成と安全基地についてのお話をさせていただきました。日頃、研修会や勉強会などでは参加させていただくことが多いのですが、自分でまとめた資料を基に説明をして、皆様からさま

ざまなお話を伺うことは、私にとってもたいへん貴重な経験になりました。ご参加いただいた皆様には改めて感謝申し上げます。

子ども達や青年達に何かを伝えていくためには、まずは周りの大人達が学ぶところから始めていくことが大切なのだと思います。そのためには、日々の仕事や暮らしに追われて、毎日があつという間に過ぎてしまいがちな日常の中で、そこにある小さな『気づき』を置き忘れてしまわないように心がけたいものです。

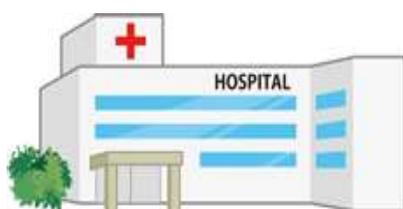
そして、物事が起きてから気づくのではなく、些細な気づきや変化を捉えることのできる感性、効率を求めるあまり寛容さを失わない感性…。真に求められるのは人々の感性の豊かさなのだと思えます。

そんな豊かな感性を持つ人々が増えていくことが、暮らしやすい地域を創る礎になるのではないのでしょうか。（東野）

今年の夏は海沿いのリゾート産業には厳しいものでした。

様々な要因で気象が複雑になったのか予想できないことが起こるようになりました。台風、夕立、セミの声…。記憶にある夏はもっとシンプルだった気がします。環境が複雑化すると同様に世の中も変化していると感じます。私事ですが、最近数日入院加療することがありました。その際、保証人・保証金・複数の緊急連絡先、勤務調整等、クリアしなければならぬことが複数ありました。体験してこの「一般的な」手続きが困難な方もいるだろうと感じました。まったく身寄りがなく、さらに正常な判断ができない状態で医療を受ける人もおられるでしょう。企業側もリスクの回避が必要ですし、個々のケースにどのように対応するか検討しておられることと思います。「一

般的」でない医療費や医療制度についてもっと知りたいと思えました。医療だけでなく住居や就労でも保証人や緊急連絡先を求められることが多々あります。親族や知人と持ちつ持たれつで暮らす美德は確かにあつたしこれからもあつてほしいと思います。しかし「身近な人だからこそ迷惑をかけたくない」という気持ちも共感できます。親族や知人を頼れる人・頼らない人それぞれに自分の意志で決までき、利用できる制度があることが理想です。複雑に見える世の中ですが、もしもすべての人が相手を思いやる視点に立つことが出来たら解決はシンプルだと思えます。（岡）



## 学び舎・ゆーすぽーと

ゆーすぽーとは、また繁忙の時期を迎えた。毎年夏休みを前に、長期休業中の子どものための生活を心配して各機関からの紹介があり、にぎやかになるのが恒例だ。今年も4人の新規利用申し込みがあり、すでに利用してもらっている。他に2人の面談予定がある。オープン3年目で、過去2回はほぼ市役所子ども課や家庭教育相談室からの紹介がほとんどだったが、今年はすでに利用が始まっている4人と面談中の2人、共に学校からの紹介で、全員が同じ小学校である。規模が大きく、しかもゆーすぽーとは学区が隣接していて、利用しやすい立地にあったが、去年は2人、1去年は1人の利用しかなかった。それが、突然利用者が増えたのには理由がある。今年度当該校に配置されたスクールソーシャルワーカーのニーズの発掘とコーディネート

ネットが大きな力となっている。以前から、交流がある不登校対策教員の紹介で、郡内にもう一人配置されたスクールソーシャルワーカー（松尾中配置）と一緒に着任早々ゆーすぽーとにご挨拶に来て下さり、ゆーすぽーとの存在と活動の趣旨をご理解していただいていたことがコーディネートのおかげだった。今回の例で、地域にゆーすぽーとの潜在ニーズが数多くあることを再確認させられた。また、子どもたちの問題にかかわる関係機関の連携とスクールソーシャルワーカーの役割の重要性を再認識させていただいた。（藤田）

## キッズふくおか

梅雨が終わった途端、酷暑が始まりへ口へ口です。みんなで何とか乗り切りましょう。夏休みに入る直前、キッズふくおかとおひさま放課後クラブ合同で、皆で気持ち良く過ごすためのルールと1日のスケジュールを、こども達が書いて貼り出しました。思いのほか、勉強時間は今の所自分達で何とかやれています。宿題を終わらせなくてはという気持ちがあるんですね。あと予想通りだったのが…片付けはやっぱ難しいようです。もちろん言われなくてもできる子はいますが、少数です。少し驚いたのは、まあまあ習慣付いてるだろうと思っていた、外から戻ったから手洗い、トイレ後の手洗い、適度な水分補給が自分からできない子が多いことでした。もしかしたら、もっと目をかけられている幼稚園保育園時

代の方が、ちゃんと習慣付いているのかもしれないですね。長い1日を一緒に過ごしていると、日常の様々な姿を見る機会が増えます。自分で考える気がなくて、すぐ大人に訊いて解決しようとする子や、何でも大人にやってもらおうとする子等、自分でまず考えて行動するということが多いと感じます。与えられることに慣れていいのか、考える機会が少ないのでしょうか。自立を促したいと思っている私も、時間がなくてつい手を出してしまうことや、うっかり手をかけ過ぎたかも…と思う時があります。大人も反省です。夏休みはこどもが成長する良い機会です。長時間一緒に過ごす中で、自分の頭で考え、判断して行動する手助けができればいいなあと思っています。

（安井）



## 「おひさま放課後クラブ」からのご案内

- ☑ **子どもたち誰もが気軽にやってこられる放課後の居場所です!**
- ☑ **お母さんたちは仕事等で帰宅が遅くなっても安心!**
- ☑ **利用する子どもさんたちの募集を5月7日から始めました。**  
ぜひ一度お子さんたちと見学にお越し下さい。お待ちしております。

### ■どんなところかな?—市立の学童クラブや民間の学習塾とはちょっと違う!—

- 個性と自主性を尊重し、子どもたちに寄り添った放課後の居場所となることをめざしています。
- みまもり専任のスタッフがおりますので、子どもたちは安心して遊んだり、勉強したりできます。
- メンバー登録した子どもの友だち(メンバーでない子ども)も自由に遊びにくることができます。

利用時間	平日は放課後から午後7時まで 夏休み等の長期休みのときは午前8時30分から午後7時まで。休祭日は休み
利用対象等	原則、福岡小学校の生徒5名程度
利用料金	上記利用時間内であれば、おやつ付きで利用料は無料
運営主体	NPO法人3.11子ども文庫・おひさま(略称:おひさま文庫)
開設場所	東金市東中島297 おひさま文庫内
問合せ/申込先	クラブ専用電話(080-7556-0311)または、おひさま文庫代表 鈴木孝雄(090-1739-0147)まで

### ■皆様へのお願い—おひさまみまもり隊に参加され、ご支援を!—

当クラブは小さな民営団体です。保護者の方や地域住民の皆様方のご支援がなければ、この取組みは成り立ちません。運営は皆様からの会費で賄われますので是非ともご協力いただきたくお願い申し上げます。

種類	年会費	お願い
会 員	1口5000円	ご一緒に当クラブを支え育てていこうという方は是非1口以上で。 お子さんをメンバー登録した保護者の方は6口以上(分割可)でお願いします。
賛助会員	1口1000円	趣旨に賛同し、当クラブの活動や運営を応援していこうという方向けです。

## 案内図



## 企画・イベント情報

### 穂垂るの会

介護している方々が集まって  
日々の苦労話等を気軽に本音で  
話し合う会です。

日時：9月12日(木) 13時半～

会場：ふれあいセンター

2階 創作室

参加費：200円

主催・連絡先：

穂垂るの会・井上

(090-7171-1701)

### ヨガサロン

健康管理、仲間づくりにヨガ  
を始めませんか？旧道の岸本薬  
局の斜め向かいにある「ありさ」  
の2階で開催中。

開催日：9月4日(水)

9月18日(水)

10時半～12時

※興味のある方は、ご連絡下さ  
い。

ありさ(50-0362)

### 街Cafeさくら

「苺楽四重奏」

日時：9月15日(日)

13時～16時

(催し物は14時～15時)

会場：東金市東金1060・6

(サンフラワー1階内)

参加費：100円(お茶代)

問い合わせ先：

社会福祉法人ゆりの木会内

認知症カフェ担当

平賀・笠原(50-8111)



## お知らせ

### スタッフ募集

子どもや障がい者、お年寄り  
等、人に関わる活動に興味のあ  
る方、一緒に働きませんか？

日数・時間・曜日・内容(介護・

保育・支援・食事づくり・清掃

など)・年齢等ご相談に乗りま

す。

※興味のある方は、ぜひ当法  
人にご連絡ください。

(53-3630)

### ボランティア募集

趣味や特技、仕事を通じて身  
につけたスキル、体力等、自分  
らしさを生かしたボランティア  
活動をやってみませんか？

ボランティア活動を通じて得  
られる効果は無限大です。

子どもや障がい者、お年寄り

等、人に関わる活動に興味のあ

る方は、ぜひ当法人にご連絡く

ださい。

(53-3630)

## 編集後記

暑さが厳しくなってきました。水分をしっかり取って  
いきたいですね。スポーツドリンクや麦茶(あまり運動をさ  
れない方はノンカフェイン飲料もお勧めなんだそうです)  
等をこまめに飲んで、この夏を乗り切りましょう！(I)

京都アニメーションの放火の件、いまだにつらい思いが  
残りますが、自分なりに何かできる事を探した結果、少な  
いながら募金をしてまいりました。今回の事件で亡くなら  
れた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。(J)



## ちばしゃ通信 (Vol.58)

発行日：2019年8月19日

発行元：ちば地域生活支援舎

編集責任者：宮下・太齋

連絡先：0475-53-3630

# 1Day ボランティア 募集

子ども達に自分の“知識”や“技術”を伝えたい人

子ども達と一緒に学びたいと思っている人

子ども達に“ご飯”や“おやつ”をつくってあげたいと思っている人

子どもに関わる活動をしたと考えている人

子ども達に「教える」とはどういうことか?を学びたいと思っている人

子どもに関わる仕事をしたいと思っている人

子ども一人ひとりに寄り添いたい!と思っている人

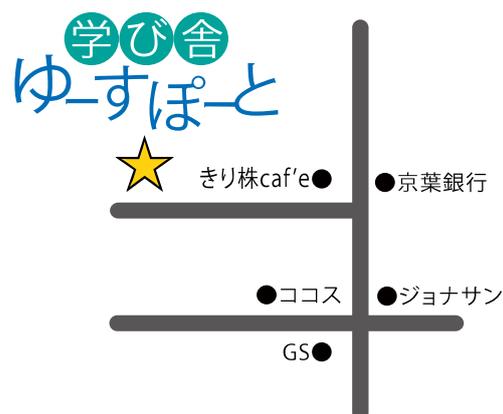
未来をつくる子ども達のために何かしたいと思っている!あなた・・・

あなたの“思い”と“時間”と“力”を少しだけ、  
地域の子ども達のために活かしてみませんか?

- 活動日 月曜日・水曜日・木曜日・土曜日
- 活動時間 平常時 15:00～19:00  
土曜日 13:00～17:00  
祝日 14:00～18:00  
長期休業(夏休み・冬休み等) ※変更になります。
- 活動内容 小学生・中学生への学習支援、学習の見守り・サポート、  
社会体験のサポート、食事づくり、話相手など。
- 活動条件 毎月1回、2時間程度

お問い合わせ先

学び舎 ゆーすぽと  
TEL.0475-86-6543



※東金駅より車で5分、徒歩15分